

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和5年度分）

1. 認定の日付

令和4年3月25日

2. 認定事業適応事業者の名称

九州旅客鉄道株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

令和4年3月31日～令和7年3月31日

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、鉄道の旅客需要は大幅に低下している状況の中、「安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を活かしたまちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献する」というビジョンのもと、コロナ禍で変わりゆく環境に対応し、九州の持続的な発展、需要喚起につなげるべく、長崎駅における商業施設・オフィス・ホテルへの設備投資を行うことを通じ、交通ネットワークを中心に九州で成長していく上での事業基盤を強固なものとしていくとしている。

この計画のうち、2023年度においては、前年度から引き続きホテル、商業、駐車場、オフィスの躯体工事、外装等工事を実施し、2023年11月10日に「アミュプラザ長崎新館」（商業、駐車場、オフィス）が、2024年1月16日に「長崎マリオットホテル」（ホテル）がそれぞれ開業した。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2023年度においては、EBITDA マージンが基準年度である2021年3月期の1.6%から17.5ポイント改善し、19.1%となった。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

2023年度においては、有利子負債/キャッシュフローが4.4倍となり、経常収支比率が112.1%となった。

（4）実施した事業適応計画の内容

2023年度においては、躯体工事、外装等工事を実施し、2023年11月にアミュプラザ長崎新館が、2024年1月に長崎マリオットホテルが開業した。